



すくすく



かねはら小児科ニュース
12

平成 15 年 7 月 1 日発行
発行人 金原 洋治
下関市生野町 2-27-7

新たな出発に向けて

すべての子ども達と家族の支援の場

かねはら小児科 金原 洋治

来年青 現在の駐車場の場所へクリニックを
移転します。4階建ての建物の建設工事が7月
中旬から始まりますので、現在のクリニックの
裏側23台分が患者さん用の駐車場になりま
す。工事の期間中に不自由をおかけしますが
ご了承下さい。新しい建物は4階建てで、1・2
階がクリニック、3・4階が社会福祉法人が運営
する施設で、現在3階で行っているテイケアハ
ウスが大きくなったよつな
施設です。まだ、5年しか
経っていないのにクリニ
クを移転するのが多くの方
は不思議に思われると思
います。何故新築移転する
よつになつたのか、何故私が障害を持った人達
の医療や福祉に関わるよつになつたのかその
経過を皆様方にご紹介したいと思ひます。

私は1才の時、当時猛威を振るったポリオに
かかり生死をさまよいましたが、幸い両親や
医療関係者の方々のおかげで軽い左足の麻痺
を残しただけで治りました。現在、6級の身体
障害者です。軽度の麻痺にも関わらず思春期
には随分劣等感を抱き苦しみました。逆に
障害を持ったおかげで、理数科が苦手な私が
医学の道に進み、小児科医になれたのだと思



います。昭和52年から開業するまで21年間に
済生会病院の小児科に勤務し、私の一番の専
門領域の新生児医療を中心に懸命に活動して
きました。新生児医療に長い間携わっていると
多くの障害を持った人達や家族の人達に出会
います。私はこの間までテレビで放映されてい
たブルックジャックの『よろしく』を楽しみに見
てきました。ある時は妻木木聡君のようになら
なう。ある時は笑福亭鶴瓶さんのように
葛藤に苦しみながら、障害を持って生まれて
きたご家族と共に厳しい現実には涙を流し、危
機を脱した子ども達の退院の時には感涙にむ
せんできたエピソードを思い出します。昭和59年に
障害を持った子ども達のお父さんやお母さん
他、多くの市民のみなさんと「下
関市に療育センターをつくる会」
を結成し、11年かかって出来上が
ったのが「下関市子ども発達センタ
ー」です。この発達センターは現在
主に小学校入学前の子ども達の療
育の中核施設として大きな役割を果たしてい
ます。私は月に1回身体利用して、嘱託
医として主にお母さん達の相談に出向いてい
ます。

その後も、子ども達やお父さん達とお付き
合いが続ぎ、若き青年医師だった私も年を重
ね信じられなれなれませんが髪の毛もふ
さふさとしていてスリムでした。子ども達も
養護学校を卒業する年齢に成長しました。し
かし、重い障害を持った子ども達は養護学校
卒業後通う場所がなく、親の会の方々を中心
に検討を重ねてきてきたのが、当院の2階にあ
る「テイケアムスきのみ」です。開業と同時に
オープンした「テイケアムスきのみ」も利用者
が年々増加し、今年には満員電車状態になっ
てしまいました。これ以上の人は利用出来なくな
りましたので、土地を探していましたが、重い
障害を持った人達の生活を支えるには医療と
は切り離すことが出来ないと言つたことになり
クリニックと同時に移転することになったので
す。

1階は小児科クリニックですが、現在の2倍
の広さになります。待合室や処置室が広くな
り、この隔離室の他、新たに点滴カウンターを
設けます。隔離室と一般の待合室の出入り
口は別々にしました。また、一人の小児科医が
同時に診察出来るように診察室が3つ出来る
予定です。2階は子ども達の発達支援室とし
て、育児相談の他、不登校や子どもの心身症、自
閉症、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害
(ADHD)など、心や発達に「まっすぐ」のある子
ども達と家族の支援の場になります。カウンセリ
ングルームが2つ、作業療法室、プレイルームが
出来ます。この作業療法士と臨床心理士
が担当します。また、障害があるなしに関わ
らず遊べるように、様々なおもちゃを準備し
本の読み聞かせ等も出来るおもちゃの図書
館も併設する予定です。ボランティアさんに
運営して頂いて欲しいです。子ども達や
子育て中のお母さん方の交流の場になればと
思います。週一回位開館しようと思ひています。
グループで運営して頂けるボランティアさんを

探していただきますので、ご希望の方は、院長までお知らせください。

3. 階は、社会福祉法人「じねんじよ」が重症心身障害者地域生活支援センターを運営します。私が理事長に任命されました。

『じねんじよ』には、大地にしっかりと根を張って生きて欲しい、『どう親や関係者の願いが込められています。利用者の大部分は、重い身体障害と知的障害を同時に併せ持った人達です。ここでは、運動訓練や入浴、食事

など日常生活のサポートは勿論ですが、陶芸喫茶室、パソコンコーナーなどの他、又「ズレン」という重い障害を持っていても楽しめる西日本でも数少ないお楽しみ場が出来ると予定しています。このセンターは多くのボランティアさんにお手伝い頂き、地域に開かれた

地域の人達と共に在る場になって欲しいです。

ご理解ご支援の程よろしくお願い致します。

ご理解ご支援の程よろしくお願い致します。



みかんちゃんの一口メモ
病気の時、お風呂はどうしたらいいの？

熱が下がって一日様子を見て、熱が上がらない様なら入って良いでしょう。
 咳や鼻水があっても、食欲があり、機嫌や顔色が良い時も入って良いでしょう。
 下痢をしたり吐いたりして元気がない時、入るのは控えましょう。
 病気が良くなって、初めての入浴の時は、長湯を避け（疲れてしまいますので）サアッと汗を流す程度にしましょう。



おすすめの本 心と体を育てるベビーマッサージ

著者 能登春男・能登あきこ 発行所 PHP 研究所

お母さんの肌のぬくもりは子どもへの最高の愛情ですね。肌と肌がふれあうことで愛を感じ、心と体が癒され、生きる力が湧いてきます。簡単だけど、とっても大切なスキンシップの方法を教えてくれる1冊です。

金ちゃん先生の講演会案内

- 7月10日 思春期を生きる君達へ 長府中学校性教育
- 7月24日 障害児の医療的ケア 山口県立下関養護学校
- 7月27日 気になる子どもの学習会 (教師・保育士対象)
山口県アスベの会 下関市社会福祉センター
- 8月7日 子どもの心の健やかな成長のために
宇部市学校保健会
- 8月28日 気になる子どもの理解と支援
市教研小学校保健主任部会 川中公民館
- 8月31日 気になる子ども学習会 (保護者対象)
山口県アスベの会 下関市社会福祉センター

お知らせ



休診のお知らせ

7月11日(金)・12日(土)は院内研修の為、休診になります。ご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願ひします。

盆休みのお知らせ

8月14日(木)から17日(日)の4日間は盆休みで休診とさせていただきます。

代診のお知らせ

- 9月9日(火) 午前 代診 石本先生
- 9月16日(火) 午前 代診 石本先生

駐車場変更のお知らせ

7月中旬よりクリニック新築工事が始まりますので、新しい駐車場は、クリニック裏の駐車場になります。皆様方にはご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いいたします。

ホームページ公開中

かねはら小児科のホームページを是非御覧下さい。掲示板は携帯電話からでもアクセス出来ます。掲示板では、今週の流行している病気・講演会案内・育児相談などの情報提供も行っています。ご意見・ご感想・その他どんな事でも、どんどん書き込んで下さいね。

ホームページアドレス

<http://members.tripod.co.jp/kanehara2003/index.html>

掲示板アドレス

<http://tcup7102.tripod.co.jp/kanehara2003/bbs>

個人的に質問したい内容は、院長のメールアドレスにお願いします。

kanehr01@tip.ne.jp

編集後記



金響館の人気者、水泡眼が来てから早、一年が経ちましたが、実はまだ名前がありませんでした・・・!。という訳で名前を大募集します!! 会計カウンター横に応募箱を用意しています。みんなで素敵な名前を考えて下さいね! 結果は小児科掲示板とHPで発表します。沢山のご応募、お待ちしております!! 半熟ラ・フランス